



教育分野とスポーツ分野でブレインジムを活用する！25年以上の経験を持つキャロル・アン・エリックソンさんをお招きして、下記の講座が行われます。※お申込み、及び詳細は協会HPをご覧ください。

- 海外講師による一日講座 -

- 日時: 2013年10月26日(土)
10:00~16:00
- ・講座タイトル: スポーツにおけるダイナミック・パフォーマンスのためにブレインジムができること
- ・会場: 中野サンプラザ (定員:60名)
- ・受講料: ¥10,000 (前売り¥8,000 ※9月末日迄にお振込み完了の場合)
- 日時: 2013年10月27日(日)
- ・講座タイトル: ユニークな発達を支えるためにブレインジムができること
- 10:00~12:30 幼児のために
- 13:30~16:00 小学校児童のために
- 16:30~19:00 ティーンエイジャーのために
- ・会場: 中野サンプラザ (定員:80名)
- ・受講料: ¥10,000 (前売り¥8,000 ※9月末日迄にお振込み完了の場合)
- 各回単独の受講も可能です。 ¥3,500/1講座

- 財団による認定講座 -

- 日時: 2013年11月1日(金) ~ 4日(月・祝日)
9:30~18:00 (予定)
- ・講座タイトル: 動きの探索・レベル1(Movement Exploration 1) 発達における「動きのパターン」を構築する反射の統合を扱います
- ・会場: 楠の木学園 横浜線小机徒歩3分 (定員:20名)
- ・受講料: ¥125,000 (協会会員 ¥5,000割引) ※ブレインジム101の受講修了者対象



Brain Gym® International Conference 2013 in Bali



NPO法人日本教育キネシオロジー協会
ブレインジムに関するお問合せはこちらまで

<http://www.edu-k.jp>
jimukyoku@edu-k.jp

えでゆけ

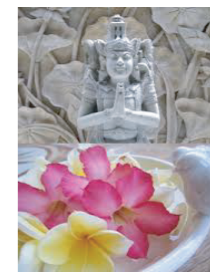
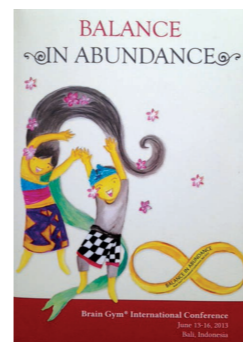
Edu-k Journal

vol.02

July 2013

BRAIN GYM JAPAN 季刊(年4回発行) 発行:NPO法人日本教育キネシオロジー協会 東京都千代田区平河町2-11-10 パークウエスト301 電話03-6272-6037 企画・制作:SKLスタッフ

Brain Gym® International Conference 2013



June 13-16
Bali, Indonesia

交流、親睦、連帯。そして感動と学習意欲の刺激
稔り多い成果と思いきや出陣しブレインジム世界大会盛況裡に閉会
日本から過去最多、十一名のインストラクターが参加

注目集めた日本人の プレゼンテーション

国際キネシオロジー財団(米国)主催の「ブレインジムインターナショナルカンファレンス二〇一三年世界大会」が、去る六月十三日から十六日までの四日間の日程でインドネシア、バリ島のホテル・アストン・デンパサルで開催された。二十二ヶ国から総勢約百二十名が参加し盛況な大会となった。日本からは、たむらゆうこ理事長をはじめ十一名のインストラクター、他四名の関係者が参加した。大会は、国際教育キネシオロジー財団の代表ケリー・コトディ氏の開会挨拶で始まり、オープニングセレモニーでは、インドネシアの民族舞踊が披露された。その後、順次スケジュールに沿って各部会が精力的に展開された。

今後の普及活動に与えた 大きな自信と励み

今年度総会の主テーマは、「Balance in Abundance」。各国の参加者からそれぞれのテーマでプレゼン発表がなされ、日本からは灰谷孝氏を皮切りに、金雄一氏、白木原雪乃氏、亀田せんじゅ氏の四氏が

日本での普及活動の一端を発表し、好評を博した。これまでの年次世界大会で日本人が活動報告を発表したのは、唯一たむら理事長だけだった。四氏の普及活動発表に加え、これだけ多人数のインストラクターが一堂に集まったのも今回がはじめて。近年、日本におけるブレインジムの活動がますます普及していることを世界に示すよい機会になったといえそう。

の参加者の注目を集めたと思う。また私を含め参加した日本のインストラクターにとっても、今後の普及活動の大きな自信と励みになったのではないかと思います」と語った。
なお、世界大会に先駆けてバリ島で開催された「インターナショナルファカルティ会議」において、NPO法人日本教育キネシオロジー協会の亀田せんじゅ理事と、白木原雪乃理事の両名がファカルティに認証された。

ファカルティ認証おめでとう!



白木原雪乃さん



亀田せんじゅさん



ブレインジムをする上で私が大切に思っていること

五十嵐 郁代 (山形)
臨床ソーシャルワーカー



●ヒッポメンタルクリニック内

●来る八月四日、「トラウマからの回復を記念して五十嵐善雄先生と五十嵐郁代」インストラクターによる出版記念講演があります。詳細は協会HPをご覧ください。

裁判の盛んな社会にいるインターナショナルアカデミーは、「ブレインジムはあくまで『教育』キネシオロジーである」と、とても慎重な姿勢を私たちに示してくれました。

ブレインジムの医療に使用しなければ、医師などの国家資格を持つている人とチームで共同作業するのがよいと思えます。そういう人達と共にブレインジムの効果を公表していく姿勢が、社

きたお陰かもしれません」
NPO法人楠の木学園、神田誠一郎園長。五十二歳。一九九三年、この学園はLD、ADHD、アスペルガーなどの「発達障害」、不登校、ひきこもりや知的、精神的な面で困難を抱える子ども達のための特定非営利活動法人として認証を受け設立された。

以来、二十年を経た歴史のなかで多くの学生がこの学びの舎から巣立っています。現在、三十余名の学生たちがここで学んでいます。

神田先生は、学園創設当初から体育、調理、演劇、畑仕事などのいわゆる学生参加型の授業を担当しているといふ。昨年四月、前任者から学園長を引き継ぎ就任した。歴代三代目の園長である。重責に違いない。

なにかと心労が多いのでは——。

そう尋ねると、先生からこんな言葉が笑いながら返ってきた。

「ありませんね。生徒たちと共に学び、彼らの笑顔に励まされ元気をもらっています。楽しい学びとは何かを問いつける毎日です。ただ立場上、保護者会など大人との付き合いが多くなりましたが——」

神田先生は、学生参加型の事業を重視し力を注いでいる。「実は、学園長を受けるときに考えたことは、体育や演劇、調理、畑仕事などの受け持ちをできるだけ減らさないこと」だったのだという。

それは先生の強い教育方針であると

大切な
インストラクターの自覚

精神科でブレインジムの導入しているといつても、病気の治療目的に行っている訳ではないことを重ねて強調しておきたいと思えます。生活し辛さを改善し、忘れられていた健康な部分を見つけ、目標を引き出し、それに向かって一歩踏み出すためにブレインジムを使っています。

インストラクターであれば、いろいろな場面でブレインジムの持つ威力に驚いた体験を持つているでしょう。

しかし、病気にブレインジムの効果があつたと主張するのは、用心深くある必要があると思います。

同時に、バランスを取る当人にも、誰かに変えてもらうのではなく、自らをゴールに向かって変化せしめるという意欲をもつて取り組むことの大切さを理解してもらおうことは非常に重要なことだと思っています。

同時に、学園の教育方針とも深く関わっている。楠の木学園では、「教科・職業教育」「自己肯定の育成」「豊かな人間性の育成」の三つの柱を教育方針に掲げている。

それらの各柱を貫いているのが「楽しく学んだ記憶だけが、簡単に引き出すことのできる力(財産となる)」という学園の基本的な教育観だ。学生参加型の授業は、いずれも各人のペースに応じて楽しく体を動かし、知恵や工夫を出し、汗を流し、その結果、仲間意識や連帯感のなから自分自身にさわしい力(財産)を導き出す効果が期待できる。

事実、教育において体を動かすことの意味は大きい。先生がブレインジムの教育現場に積極的に取り入れているのもそうした教育効果に眼目を置いているからだ。

「毎朝、ホールでブレインジムの授業を始めています」

ここではブレインジムの教育の一環として組み込まれた、いわば一日の授業の開始前の頭と体のウォーミングアップみたいなもので、すっかり定着しているようだ。

神田先生は、大学で体育教師の資格を取得。その後、ドイツのシュタイナー学校の体育教員養成コースに学んだ経歴を持っている。ブレインジムを知ったのは十年ほど前だという。この学園での体育の在り方を模索しているなかで出会い、ブレインジムのインストラク

●<えでゆとく>は、知っているとちょっとお得な豆知識コーナーです



「最新科学が教える水と脳の関係」

——思考は水分子に依存しているかも！

天田武志 (神奈川)

こんな記事を見つけました。

水拡散fMRIが開く未来。鍵握る脳の活動
<http://scienceportaljp/highlight/2013/130128.html>

【水拡散fMRIの場合、水分子は有益な情報に満ちた美しい画像を与えてくれるだけではない。水自体が、脳内で非常に重要な機能を担っていることが示唆されてくるわけだ。つまり、私たちの脳、私たちの思考というのは大いに水分子に依存しているのではないか。これが私の強調したい点だ。脳は80%が水でできている。脳内にある110個の分子のうち9個は水が運んでくる。私の考えでは、脳で起きているダイナミックな変化を理解する鍵は水分子にある。】
(引用終わり)



水拡散fMRIは神経細胞の活性化に関して、血流の変化ではなく、水分子の拡散を通じて組織の変化を把握する技術です。水と言えば、ブレインジムでは水を飲むこともエクササイズのひとつです。そして、とても大切なエクササイズでもありますので、このようなコメントを見つけると嬉しくなりますね。

『水を飲む』は、ブレインジムの英語のテキストに『Sipping Water』と書かれています。水をすすする、というような意味のようです。なので、がぶがぶ飲むのではなく、少しずつちびちびと飲みます。これが重要なポイントです。

私たちの脳、思考は水分子に依存しているかもしれないと最新科学が教えてくれています。

苦手なことやハードな課題に取り組むとき、ストレスを感じているときに、ぜひお試しください。



このシリーズは、インタビュー形式での連載となります。ブレインジムとの出会いや活動を皆さんに熱く語っていただこうと思います。

ブレインジムと私 ②



NPO法人 楠の木学園園長
神田誠一郎さん

ブレインジムは、「安心」を体を通して手順とおりに獲得していく道具

取材に先駆け拝見した写真から受け取った印象を素直に伝えると、

「若く見えるのは、この学びから得られる、人を活き活きとさせてくれる生命力と、一十九年間ついています。楽しい学びとは何かを問いつける毎日です。ただ立場上、保護者会など大人との付き合いが多くなりましたが——」

神田先生は、学生参加型の事業を重視し力を注いでいる。「実は、学園長を受けるときに考えたことは、体育や演劇、調理、畑仕事などの受け持ちをできるだけ減らさないこと」だったのだという。

それは先生の強い教育方針であると

同時に、学園の教育方針とも深く関わっている。楠の木学園では、「教科・職業教育」「自己肯定の育成」「豊かな人間性の育成」の三つの柱を教育方針に掲げている。

それらの各柱を貫いているのが「楽しく学んだ記憶だけが、簡単に引き出すことのできる力(財産となる)」という学園の基本的な教育観だ。学生参加型の授業は、いずれも各人のペースに応じて楽しく体を動かし、知恵や工夫を出し、汗を流し、その結果、仲間意識や連帯感のなから自分自身にさわしい力(財産)を導き出す効果が期待できる。

事実、教育において体を動かすことの意味は大きい。先生がブレインジムの教育現場に積極的に取り入れているのもそうした教育効果に眼目を置いているからだ。

「毎朝、ホールでブレインジムの授業を始めています」

ここではブレインジムの教育の一環として組み込まれた、いわば一日の授業の開始前の頭と体のウォーミングアップみたいなもので、すっかり定着しているようだ。

神田先生は、大学で体育教師の資格を取得。その後、ドイツのシュタイナー学校の体育教員養成コースに学んだ経歴を持っている。ブレインジムを知ったのは十年ほど前だという。この学園での体育の在り方を模索しているなかで出会い、ブレインジムのインストラク

同時に、学園の教育方針とも深く関わっている。楠の木学園では、「教科・職業教育」「自己肯定の育成」「豊かな人間性の育成」の三つの柱を教育方針に掲げている。

それらの各柱を貫いているのが「楽しく学んだ記憶だけが、簡単に引き出すことのできる力(財産となる)」という学園の基本的な教育観だ。学生参加型の授業は、いずれも各人のペースに応じて楽しく体を動かし、知恵や工夫を出し、汗を流し、その結果、仲間意識や連帯感のなから自分自身にさわしい力(財産)を導き出す効果が期待できる。

事実、教育において体を動かすことの意味は大きい。先生がブレインジムの教育現場に積極的に取り入れているのもそうした教育効果に眼目を置いているからだ。

「毎朝、ホールでブレインジムの授業を始めています」

ここではブレインジムの教育の一環として組み込まれた、いわば一日の授業の開始前の頭と体のウォーミングアップみたいなもので、すっかり定着しているようだ。

神田先生は、大学で体育教師の資格を取得。その後、ドイツのシュタイナー学校の体育教員養成コースに学んだ経歴を持っている。ブレインジムを知ったのは十年ほど前だという。この学園での体育の在り方を模索しているなかで出会い、ブレインジムのインストラク

私の本棚



『ブレインジムと私』
ポール・デニソン / 著
石丸 賢一 / 訳
(市民出版社)

堀 弘子 (神奈川)

2010年10月10日。ポール・E・デニソン博士の一つの自叙伝とも言える『ブレインジムと私』が出版されました。この本には教育に関わる者にとっても大きな意識の変革を促してくれる貴重な記録が記されています。この世に生を受けた、現在の子ども達も過去の子ども達も、教育者の広い

意味での力量不足のために、自分の携えてきた能力を開花できず、自己肯定感を持っていないまま、人生を歩んでいる例は少なくありません。多くの人々の自己変革の道標となることでしょう。

10月18日。日本教育キネシオロジー協会ですべて初めてお会いしたデニソン博士は、私の

想像以上に人類愛にあふれた方でした。だからこそ、人類の財産である、このプログラムを創造できたのでしょう。私の手元にある、『ブレインジムと私』の表紙をめくると、「学んだり教えたりするために動くことをもっと楽しみましょう。」というデニソン博士の言葉が自署されています。